

第1章 現地調査

1.1 現地調査参加者

総括・団長	足立 隼人	国際協力専門員
調査企画	高田 裕彦	国際協力事業団鉱工業開発調査部計画課長代理
電力行政	小野 祐二	通商産業省資源エネルギー庁公益事業部電力技術課
電力法制度	小林 隆夫	東洋エンジニアリング株式会社
電力開発計画	清水 博史	東洋エンジニアリング株式会社
電力事業経営	尾上 透	東電設計株式会社

1.2 現地調査日程と面談先

月・日・曜日	午前	午後
09月12日(火)	9/11の11:05デリー着：足立団長	22:25 デリー着(TG315)：団員5人
09月13日(水)	09:30 JICA 事務所 10:00 JBIC 事務所 11:30 日本国大使館	15:00 大蔵省経済局 15:30 電力省(MOP) 16:45 世界銀行(WB)
09月14日(木)	10:00 中央電力庁(CEA) 12:00 中央電力研究所(CPRI)	15:00 国立電力研修所(NPTI) 16:00 アジア開発銀行(ADB) 19:00 電源開発(株)インド事務所
09月15日(金)	10:00 国立火力発電公社 (NTPC) 10:00 新エネルギー省(MNES) 12:00 パワグリッド公社	12:00 再生可能エネルギー開発庁 (IREDA) 15:00 国立水力発電公社(NHPC)
09月16日(土)	資料整理	16:45 デリー発 ハイデラバード着
09月17日(日)	資料整理	資料整理
09月18日(月)	11:00 AP州エネルギー局 AP州発電公社(APGENCO) 12:00 AP州発電公社(APGENCO)	16:30 AP送電公社(APTRANSCO)) 19:00 AP送電公社(APTRANSCO) 20:00 AP州給電指令所
09月19日(火)	報告書作成	17:00 ハイデラバード 発電所Aへ(コナル A) 17:40 ハイデラバード 発電所Bへ(コナル B) 19:15 ハイデラバード 発電所へ(官団員)
	コンサルタント A	コンサルタント B
09月20日(水)	11:00 タミルナドール州電力局(TNEB)	15:00 マハラシュトラ州電力局(MSEB)
09月21日(木)	11:00 タミルナドール州電力局(TNEB) 17:00 チェンナイ発カルカッタへ	17:00 ムンバイ発ヴァドドラへ
09月22日(金)	11:00 ウィストベンガル州電力局(WBSEB)	10:00 グジヤラート州電力局(GSEB) 13:00 同上の給電指令所
09月23日(土)	17:30 カルカッタ発デリーへ	9:15 ヴァドドラ発デリーへ
	午前	午後
09月24日(日)	報告書作成	報告書作成
09月25日(月)	11:00 JICA 事務所 12:00 JBIC 事務所 16:00 日本国大使館	報告書作成 23:15 デリー発
09月26日(火)	07:10 シンガポール 09:50	17:35 成田着

1.3 現地調査対象州

与えられた調査の総期間は2週間であったので、デリーでの調査1週間の後、限られた1週間の調査期間を最大限に利用して、人口の多い3大都市があるマハラシュトラ州（ムンバイ市）・ウエストベンガル州（カルカッタ市）・タミルナドー州（チェンナイ市）の3州と、世界銀行およびアジア開発銀行それぞれの支援の下で電力セクターの再編と構造改革が進んでいるアンドラプラデシュ州とグジャラート州の2州、合計で5州を現地調査の対象として選択した。

